

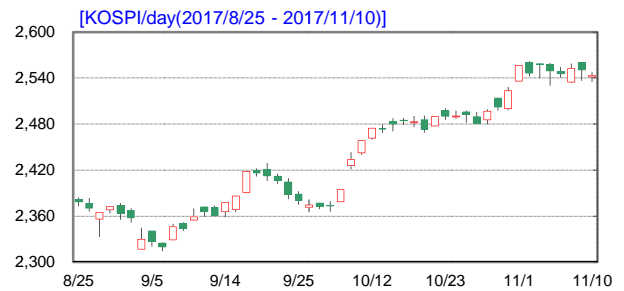


## 【韓国】 総合指数は週間で0.6%安と8週ぶり反落、利益確定売りが優勢

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.6%安と8週ぶりに反落。前週末に過去最高値を更新しただけに、利益確定売りに押された。週明け6-7日は続落。新たな買い材料に乏しい上、7日に訪韓したトランプ米大統領が韓国企業に通商政策上の厳しい要求を突き付けるとの懸念も広がった。トランプ氏が訪韓日程を終えた8日は小幅に反発したものの、翌日以降は買いの勢いが失速。10日は終値で10月31日以来、8営業日ぶりの安値を付けた。一方、米株式相場や原油先物相場の上昇を受けた買いは一定の下支えとなった。半導体のSKハイニックスや自動車メーカーの現代自動車、化学大手のLG化学、鉄鋼のポスコ、ITサービスのネイバーなど大型株が総じて週ベースで下落するなか、時価総額が最大のサムスン電子が小幅に上昇した。

### ▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は4.3%高と4週ぶりに反発、今週は原油相場次第で続伸か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で4.3%高と4週ぶりに反発。2015年6月以来となる64ドル台まで上昇したブレント原油相場に支えられ、上値を伸ばした。週明け6日が休場だったが、その間にサウジアラビアのムハンマド皇太子による権力基盤強化や米リグ稼働数の減少を背景にブレント原油価格が62ドル前半から64ドル前半まで急騰したことで、RTS 指数は休場明けの7日に前週末比3.4%高の1146.98ドルと大幅上昇。その後も10日まで小刻みな値動きながらも上昇基調が続き、週間では4.3%高の1156.74ドルと4週ぶりに大幅反発した。個別銘柄では小売大手のマグニトが先週も続落し、2.9%安となったが、増配観測が浮上したズベルバンクが18.4%高と指数を押し上げた。原油相場の安定が続けば今週も続伸か。

### ▼指数チャート



## 【ベトナム】 VN 指数は週間で2.9%高と6週続伸、今週も堅調な展開が続くか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.9%高と6週続伸。おおむね好調な企業決算を背景に堅調な展開が続き、指数採用342銘柄のうち207銘柄が上昇した。フック首相が、法人税を現行の20%から15-17%に引き下げる減税案を含む3項目を約束したことも支援材料。指数は10日の場中に2008年1月以来の870ポイント目前まで上昇し、868.21ポイントで取引を終了した。週明け6日こそ前週末の急伸の反動もあり、前場はもみ合ったが、後場から10日までは買い優勢で、前週末から6営業日続伸となった。個別銘柄では、6日に新規上場し、即日VN指数に組み込まれたビンコムリテールが6.9%高、その親会社ビングループが9.6%高、時価総額1位のピナミルクが12.0%高と上場来高値を更新し、指数をけん引した。今週も堅調な展開か。

### ▼指数チャート

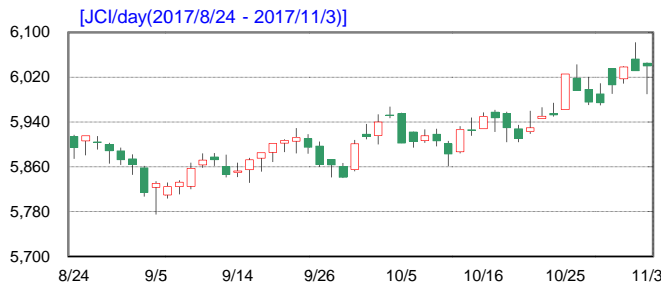


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%安、今週は 10 月の貿易統計に注目**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%安と 6 週ぶりに反落。週末の下落が響いた。週初の 6 日は 7-9 月期の GDP 成長率が前年同期比 5.1%とほぼ市場予想通りだったことを受けて小幅に続伸。7 日まで 3 営業日連続で終値ベースでの過去最高値を更新したが、8 日に 9 月の小売売上高が前年同月比 1.8%増と前月の伸びを下回ったことが嫌気されて反落すると、10 日まで 3 日続落して取引を終えた。今週は 15 日に 10 月の貿易統計が発表されるほか、16 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。貿易黒字額が堅調に推移すれば株式相場の追い風になる。政策金利は 4.25%に据え置かれるとの見方が優勢。

### ▼指数チャート

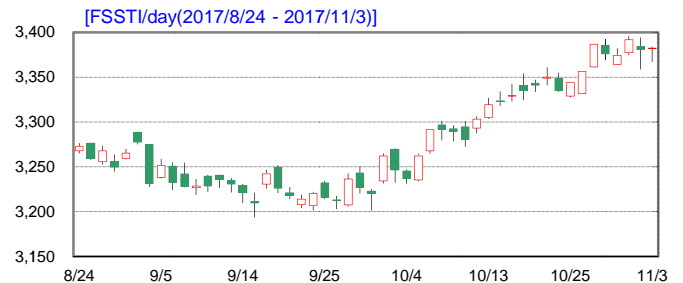


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.1%高、今週は 10 月の非石油地場輸出発表**

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.1%高と反発。おおむね堅調に推移した。週初の 6 日は石油・ガス企業に対する不良債権の増加で 7-9 月期の純利益が 2 桁減少した DBS グループが売られて指数は小幅反落。7 日は DBS を含む大手 3 行が上昇をけん引し、終値で約 2 年 6 カ月ぶりに 3400 ポイントに到達した。その後も 9 日まで 3 日続伸したが、10 日は 9 月の小売売上高が自動車部門の低迷で前年同月比 0.5%減と 7 カ月ぶりに減少に転じたことが嫌気され、反落して取引を終了。今週は 17 日に 10 月の非石油地場輸出が発表される予定で、マイナス成長だった前月からプラス圏を回復するかが焦点になる。

### ▼指数チャート

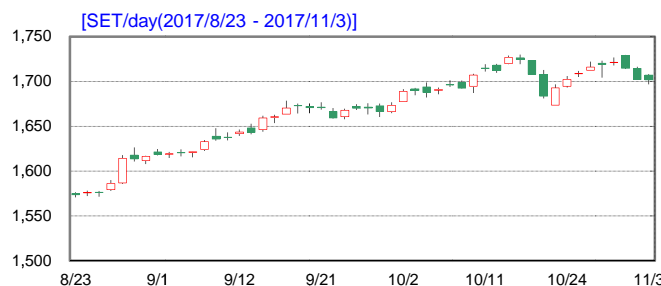


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.7%安、今週は 1700 ポイント回復に期待**

SET 指数は週間で 0.7%安と続落。週後半の下落が指数を押し下げた。7 日はサウジアラビアの政情不安や米国の石油掘削装置稼働数の減少を受け、原油の供給が縮小されるとの見方が広がった効果で資源株が指数上昇をけん引。8 日は中央銀行が金融政策決定会合後に発表した声明で、国内経済が従来の予想を上回るペースで成長するとの見通しを示したことで買われた。ただ、9 日は 10 月の消費者信頼感指数が 4 月以来の高水準に達したことが買い材料にならず反落すると、10 日は終値で 3 週間ぶりに 1700 ポイントを割り込んで取引を終了。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右されそうだ。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.1%高、今週は 17 日に 7-9 月期の GDP 発表**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.1%高と反発。小幅なレンジでもみ合った。6 日は海運大手の MISC が前週末に発表した 7-9 月期の純利益が 5 倍超増加したことを受けて買われ、指数はわずかながら 5 営業日ぶりに反発。7 日も続伸したが、8 日は中国の 10 月の輸出額が市場予想をやや下回ったことが嫌気されて反落した。9 日はブレント原油価格の上昇を受けて値上がりした一方、10 日は 9 月の鉱工業生産が前年同月比 4.7%増と前月の実績から下振れした影響で反落して終了。今週は 17 日に 7-9 月期の GDP が発表される予定で、前年同期比の成長率が 4-6 月期の 5.8%を上回れば株式相場の支援材料になる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。